

令和5年度の取り組みを紹介していますので、応募を検討されるにあたり、参考にしてください。

長崎市での平和学習

戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さを若い世代に伝える

令和5年度 北九州市 青少年ピースフォーラム派遣事業

北九州市では、平成22年2月10日に「北九州市非核平和都市宣言」を行い、平和な世界の実現に向け努力することを宣言し、長崎に投下された原爆の第一目標が小倉であった経緯を踏まえ、長崎市との平和を通じた交流をはじめ、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えるための様々な取り組みを行っています。

その取り組みの一つ、小中高生を長崎市に派遣し、全国の子どもたちと交流する『青少年ピースフォーラム派遣事業』は、令和6年度も実施予定です。



平和公園 平和祈念像

令和5年度 北九州市青少年ピースフォーラム派遣参加者 (敬称略、学校名・学年は当時のもの)

学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名
敬愛小学校	5	古江 深哉	附属小倉中学校	1	古賀 乙羽	小倉工業高校	1	川久保 正稀
附属小倉小学校	5	遠藤 みなと	照曜館中学校	1	矢野 寿桜	戸畑高校	1	中尾 和寛
千代小学校	5	鈴木 柚乃	上津役中学校	2	山根 希友	八幡高校	1	珠久 カエラ
くきのうみ小学校	5	森田 美音	富野中学校	3	山田 雄志	北九州高校	2	江島 綸花
祝町小学校	6	穴井 優和	湯川中学校	3	後藤 亨香	自由ヶ丘高校	2	堀江 仙姫
敬愛小学校	6	水口 陽凪	上津役中学校	3	田代 優奈	自由ヶ丘高校	2	山本 京佳
附属小倉中学校	1	中尾 友樹	富野中学校	3	中村 洸			

計 20名(男 6名、女 14名)、引率者 7名

8月8日(火) 長崎市立 城山小学校の見学

爆心地から約500mの場所にあり、原爆により多くの犠牲者が出た長崎市立城山小学校を見学しました。

北九州市の小・中学校などで植樹されている「嘉代子桜・親子桜」に繋がる「嘉代子桜」や、「被爆校舎(城山小学校平和祈念館)」を見学しました。

被爆直後の生々しい学校の状況を、みな真剣な表情で見学していました。



長崎市立 城山小学校の見学
多くの児童が亡くなった被爆校舎を真剣な表情で見学しています。

8月8日(火) 長崎原爆資料館の見学

長崎原爆資料館では、目を覆いたくなるような写真や資料が数多く展示されていました。原爆投下までの経緯や、戦後の核兵器開発などの歴史を学び、核兵器の恐ろしさを感じながら熱心に見学しました。



長崎原爆資料の見学
数多くの目を覆いたくなるような写真や資料を熱心に見学しました。



※令和5年度は、台風6号接近の影響で、『青少年ピースフォーラム』のスケジュールが大幅に変更となったため、8月8日(火)、日帰りでの長崎派遣となりました。

8月8日（火）ピースフォーラム開会式、被爆体験講話

全国12自治体、約163名の小・中学生、高校生等が集まり、開会式が行われました。鈴木長崎市長の挨拶、地元大学生などを中心とした「青少年ピースボランティア」による開会宣言の後、**築城昭平さんによる被爆体験講話**がありました。

昭和20年8月9日、当時18歳、長崎師範学校在学中、軍需工場へ学徒動員され、爆心地から1.8kmの学校の寮で、当日の夜勤にそなえ睡眠中に被爆。全身にやけどを負いました。特に左腕と左足先は重症でした。つらい体験を乗り越えて、当時の様子を語ってくださった築城さんの姿が、私たちの心に強く刻まれました。



築城 昭平さんによる被爆体験講話
原爆のつらい体験を乗り越え、当時の様子を語っていただきました。



R5年度ピースフォーラム開会にあたり、鈴木(すずき)長崎市長からの激励の言葉がありました。

8月8日（火）ピースフォーラム フィールドワーク

フィールドワークでは、長崎市の「青少年ピースボランティア」の皆さんが当時の写真などを見せながら、爆心地周辺にある被爆建造物等を丁寧に案内してくれました。

フィールドワーク



原爆落下中心地碑



被爆当時の地層

◆ その他の活動（事前・事後の活動）

○7月30日（日）の**事前研修会・保護者説明会**では、事業の目的、派遣行程の説明のほか、平和のまちミュージアムの見学、北九州市の歴史や平和の取り組み、長崎との関りなどについて学習したあと、各班に分かれて今回の派遣で学びたいことなどを発表しました。

○8月23日（水）の**副市長（事後）報告会**では、活動で感じたことや学んだことを、稲原副市長に一人一人から報告しました。その後、保護者の方々も一緒にスクリーンで写真を見ながら、長崎市での「平和学習」を振り返り、感想を述べあいました。

事前研修会



副市長(事後)報告会



北九州市稲原副市長、田中総務局長と記念撮影

◆ 参加者・保護者の声

他学年の方々と交流をしながら、「そんな考えがあるのだな」と視野を広げて資料館の見学や、フィールドワークをすることができました。また、被爆者の方のお話を聞くことで、戦争の悲惨さ、リアルを学ぶことができました。深く戦争のことを知ることができ、とても良い経験になりました。（参加者）

戦争体験者が少なくなっている現代で、実際に被爆者のお話を聞くことができたり、当時の人たちが目にした光景などを資料や遺跡を通して当時の人の視点に立って再度「平和」とは何かを考えることができた。（参加者）

私を含め、戦争を知らない時代になりつつあります。今回、子供を通じて平和の尊さ、命の大切さを考えさせられました。このような北九州市が行う平和教育研修を他の都市にも広めていき、一人一人が平和について少しの時間でも考えることができれば良いと思いました。（保護者）